

令和5年9月27日

保護者 様

佐世保市立赤崎小学校

校長 藪 英彦

## 令和5年度 学力調査（市・県・全国）の結果について

爽秋の候、保護者の皆様には益々ご健勝のことと拝察いたします。また、日頃より、本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、本校の学力調査の結果及び考察をお知らせいたします。下記のように本校の学力は厳しい状況にあります。学校としてはその結果を重く受けとめて、2学期からの取り組みを学年で共通実践することで学力向上を図ってまいります。

ご家庭におかれましても、**基本的な生活習慣、家庭学習の徹底を図っていただき、学校と家庭そして地域の連携・協働した取組へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。**

記

### 1 佐世保市学力調査

【対象学年及び教科】 4年生 国語・算数 【実施日】4月18日（火）

【結果】・国語の本校平均は、全国平均を下回り佐世保市平均とほぼ同じ。  
・算数の本校平均は、全国及び佐世保市平均を下回った。

【考察と2学期からの取組】

（1） 国語

- ・語彙が乏しく、読む本は絵本や図鑑などにとどまる児童が多いので、活字に触れる機会が少なく、文章を正確に読むことに苦手意識が強い。
- ・2学期からの取組として、図書の時間を大切にして、活字に触れる機会を増やす。物語や文学作品を紹介したり勧めたりすることで、おもしろさに気付かせる。定期的に条件作文を書かせる。

（2） 算数

- ・基本的な問題の間違いが多く、1年生の学習内容で身につけていない点もある。問題の意味を捉えたり量感をイメージしたりすることに苦手意識が強い。
- ・2学期からの取組として、授業の終末で問題作りの活動を仕組む。演習や反復練習の機会を増やす。自主学習に取り組みせ、宿題以外で課題を見つけたり、計画的に学習に取り組んだりする力を身につけさせる。

### 2 長崎県学力調査

【対象学年及び教科】 5年生 国語・算数・理科 【実施日】4月18日（火）

【結果】・国語、算数、理科の本校平均は、長崎県及び佐世保市の平均を下回っている

### 【考察と2学期からの取組】

#### (1) 国語

- これまでに学んだ漢字が身につけていない。叙述を基に、登場人物の行動や気持ちを捉える問題の正答率が低い。主語と述語の関係は正答率が高い。
- 2学期からの取組として、習った漢字は使って覚える。叙述を基に心情が読み取れるように指導する。

#### (2) 算数

- 分数や単位に関する問題や面積の測定の正答率が低い。
- 2学期からの取組として、テープ図や線分図を使って分数の理解に力を入れる。具体物を用いた操作活動を取り入れ、立体や図形の理解を推進する。

#### (3) 理科

- 追加された情報や実験結果を基にして、分析をして問いの答えを選択したり記述したりする問題の正答率は低い。
- 2学期からの取組としては、実験や観察結果を基に、自然の事象・現象について自ら考え関連づけを図りながら、学習内容の深めていく活動を行っていく。

## 3 全国学力・学習状況調査

【対象学年及び教科】6年生 国語・算数・学習状況調査【実施日】4月18日(火)

【結果】・国語、算数の本校平均は、全国及び長崎県の平均を下回っている。

### 【考察と2学期からの取組】

#### (1) 国語

- グラフからわかること、カードからわかることを関連付けて回答を導く問題を1つの情報を基に応える誤答が多かった。
- 2学期からの取組として、「資料と資料を関連付ける」「過去の事例や自分の経験と関連付ける」取組を行い、児童の意見を取り上げて紹介することを繰り返すことで意識と技能の向上を目指す。

#### (2) 算数

- 30%が何を示すか等、割合について正確に理解ができてない。
- 2学期からの取組としては、「割合」を主として学習する時間だけでなく、他の単元で割合をもとに考える文章問題も復習をしてから取り組ませる。スモールステップで解けるという経験を重ねて、学年末には自力で解ける技能が習得できていることを目指す。

#### (3) 学習状況調査

- 「自分に良いところがある」「困っている人は進んで助ける」「いじめはゆるさない」「学校は楽しい」と答えた児童の割合は全国平均より高い。
- 将来の夢や目標を持っていると答えた児童の割合も全国平均より高い。
- 「家庭での学習時間」「計画を立てて学習する」が全国に比べて課題である。
- 2学期からの取組としては、テストに向け①テスト範囲と期日を知らせる。②計画的に学習させる。②わからない点を指導する。」のステップを踏んで計画的に学習するよう指導し、自分に合った家庭学習の習慣化を図る。